

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年8月22日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	30週	31週	32週	33週	警報レベル		注意レベル
	7月22日～7月28日	7月29日～8月4日	8月5日～8月11日	8月12日～8月18日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	0	0	0	0	30	10	10
新型コロナウイルス感染症#	22 7.33	44 14.67	62 20.67	56 18.67	-	-	-
RSウイルス感染症	0	0	0	0	-	-	-
咽頭結膜熱	0	0	0	0	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1 0.50	0	1 0.50	0	8	4	-
感染性胃腸炎	6 3.00	1 0.50	4 2.00	0	20	12	-
水痘	4 2.00	2 1.00	1 0.50	2 1.00	2	1	1
手足口病	55 27.50	54 27.00	29 14.50	6 3.00	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	3 1.50	1 0.50	0	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	12 6.00	13 6.50	2 1.00	5 2.50	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	-	○	-
備考		新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所より

【全数報告疾病】

3類:腸管出血性大腸菌感染症

女性1名

※全数報告疾病…すべての医師から届け出が必要な疾病

【定点把握対象疾患】

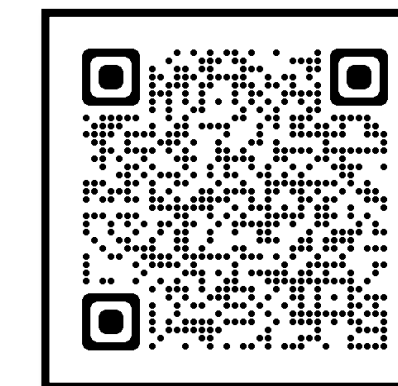
- ・新型コロナウイルス感染症は微減しました。
- ・水痘の発生は継続しています。
- ・手足口病は減少しましたが警報レベル継続中です。
- ・ヘルパンギーナは増加しました。

【集団発生情報】

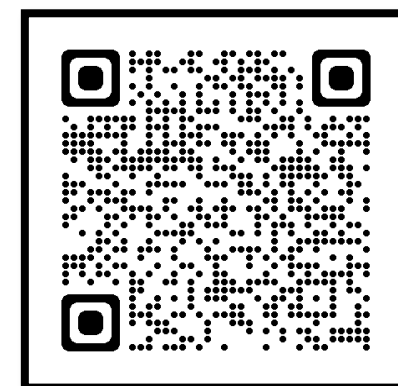
高齢者施設において新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。感染対策に努めましょう。

【感染症コラム～マイコプラズマ肺炎～】

- ・肺炎マイコプラズマを病原体とする呼吸器感染症で、晩秋から早春にかけて流行します。
- ・陽性者の約8割が1～14歳までの小児です。
- ・初発症状は発熱、全身倦怠、頭痛などです。特徴的な症状である咳は、初発症状発現後3～5日より始まるものが多く、乾性の咳が徐々に増強し、解熱後も3～4週間持続することがあります。
- ・感染経路としては、飛沫感染による経気道感染や、接触感染によって伝播すると言われています。
- ・肺炎マイコプラズマは細菌に分類されますが、一般的な細菌と比べて構造が特殊なことから、有効な種類の抗生剤がある一方で、無効な種類もあります。
- ・流行期には手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚な接触を避けることが大切です。



感染症情報 ←



← 感染症検査

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>